

## ● 平成20（2008）年度 横浜美術館 企画展スケジュール

[開館時間：10:00-18:00、金曜は20:00まで（入館は閉館30分前まで）／休館日：木曜]

★4月11日から6月8日にかけて開催を予定しておりました「生誕100年記念 杉山寧展」は、事情により中止となりました。

展覧会タイトル	会期	入場料（予定）	概要	参考画像
昭和の気品（エレガンス）、横浜の洋画家・木下孝則展	4月11日（金）～ 6月8日（日）	一般900（800）円／ 大学・高校生600 （500）円／中学生400 （300）円 ※	大正末から昭和にかけて典雅・洒脱な写実の画風を確立し、戦後、横浜市鶴見区に居をかまえ同地に没した洋画家・木下孝則（きのした・たかのり、明治27-昭和48）の画業を33年ぶりに回顧する展覧会です。大正から昭和にかけて活躍した洋画家の回顧展として、当館が初めて取り組む展覧会でもあります。木下の画風は、昭和に入って戦争をはさみ、著しい発展・復興を遂げた横浜と東京の都会的な感性に根ざしており、とりわけ多く描かれた婦人像や肖像画には、昭和という時代が体現するある種の気品や純真を認めることができます。木下の画業を回顧することによって、穏健な写実表現に根ざした日本洋画のアカデミズムの一側面を検証することを目的とします。 図：《黄衣婦人》 昭和29年（1954）、油彩・キャンヴァス	
茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟 4人が創る「わたしの美術館」展 —とっておきの横浜美術館コレクション—	6月20日（金）～ 8月17日（日）	一般900（700）円／ 大学・高校生600 （400）円／中学生300 （200）円 ※	2005年夏に開催した「わたしの美術館展」の第2弾。アーティストやその道の一流人の視点で、横浜美術館コレクションをキュレーションしてもらうことで、コレクションの新たな魅力を惹きだし、その多彩さ、豊穣さを、市民に身近に感じてもらうとする企画です。ゲストキュレーターは、感覚そのものの不思議を探究する脳科学者茂木健一郎（もぎ・けんいちろう、1962年東京都生まれ）、仏像マニアでもあるマルチ・タレントはな（1971年、横浜市生まれ）、現代人の微妙な関係を描き出す直木賞作家角田光代（かくた・みつよ、1967年横浜市生まれ）、そして当館収蔵作家で現代を代表する写真家「アラーキー」こと荒木経惟（あらかき・のぶよし、1940年東京都生まれ）の4名。横浜市長が選ぶこの1点！も紹介。会期中、関連のイベントも予定しています。 図：アントニオ・ペアト《遣欧使節とスフィンクス》1864年、アルビュメン・シルバー・プリント、横浜美術館	
特別展 源氏物語の1000年 —あこがれの王朝ロマン	8月30日（土）～ 11月3日（月・祝）	一般1,300（1,100）円 ／大学・高校生700 （500）円 ※ 前売：一般1,200円／ 大学・高校生600円 ◎中学生以下は無料	2008年は「源氏物語」が成立して1000年目の年に当たるとされています。この展覧会では、平安期から現代にまでいたる広義の「源氏絵」、および源氏物語または紫式部にまつわる図像の系譜を、とりわけ「源氏物語」が幅広く受容された近世および近代の展開に主眼をおいてたどります。それぞれの時代において、王朝人の恋愛模様や紫式部にまつわる伝説が、どのように視覚化され、受容されていったのかを、国宝や重要文化財を含む絢爛豪華な作品群で検証します。 図：国宝《紫式部日記絵巻》第三段（部分） 鎌倉時代、紙本着色・額、五島美術館（会期初日から1週間のみ特別展示）	
「セザンヌ主義」展 —父と呼ばれる画家への礼讃	11月15日（土）～ 2009年1月25日（日）	一般1,400（1,300）円 ／大学・高校生1,100 （1,000）円／中学生 800（700）円 ◎（ ）内は前売・各種割引・団体料金	印象派により導かれながらもそれを超越すべく、色や形の造型的価値を探索して近代絵画の礎を築いたポール・セザンヌ。20世紀初頭に、その作品の全貌がようやく世に示された時、知的で、しかも新鮮かつ野趣溢れるセザンヌの絵画に、新しい方向を摸索するピカソやヴラマンクら若い画家たち、そして岸田劉生、安井曾太郎ら日本の画家たちは衝撃を受け、すぐさまその革新的な技法と様式を吸収しはじめました。本展は、国内外から集められたセザンヌの典型作とその後継者たる20世紀の巨匠たちの絵画で構成されるもので、近代絵画の成立のあらたな一面を明らかにしようとするものです。 図：ポール・セザンヌ《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》1882-85年、油彩・キャンヴァス、横浜美術館	

※（ ）内は20名以上の団体料金・小学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方とその介護者（1名）無料 ※毎週土曜日は中学・高校生無料（生徒手帳、学生証をご提示ください）  
※本展チケットで横浜美術館コレクション展もご覧いただけます。